

報告書抄録

ふりがな	もりおかしないいせきぐん							
書名	盛岡市内遺跡群							
副書名	平成 24・25 年度発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ番号								
編著者名	花井正香, 佐々木紀子, 津嶋知弘							
編集機関	盛岡市教育委員会 盛岡市遺跡の学び館							
所在地	〒 020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13 番地 1 電話 019-635-6600 Fax 019-635-6605							
発行機関	盛岡市教育委員会							
発行年月日	2014 年 9 月 30 日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号	世界測地系				
たい なろう いせき 台太郎遺跡	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 じかいなかの 向中野二丁目 3	03201	LE16-2269	39°	141°	第 78・79 次 2013.06.12~21, 2013.07.04~24	第 78 次 55	個人住宅建築
				40′ 45″	08′ 38″		第 79 次 67	
おのみや きたいせき 大宮北遺跡	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 もとみやあざこはぼ 本宮字小幡 4		LE16-2036	39° 40′ 57″	141° 07′ 16″	第 17 次 2013.06.24 ~ 2013.07.03	119	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
台太郎遺跡 第 78 次	集落	平安時代	堀跡	1 条	土師器, あかやき土器, 須恵器			
台太郎遺跡 第 79 次		古代	溝跡 土坑	1 条 1 基				
		奈良時代	竪穴建物跡	1 棟	土師器			
		古代	土坑	1 基				
要約	台太郎遺跡は大規模土地区画整理事業によって、遺跡西部から中央部が調査されており、古代の竪穴建物跡が約 700 棟確認される。北上川流域で最大規模の集落である。本調査では調査事例の少ない遺跡北東部の集落の様相を明らかにすることができた。							
大宮北遺跡 第 17 次	集落	平安時代	掘立柱建物跡	3 棟	土師器, あかやき土器, 須恵器			
			土坑	11 基				
			溝跡	3 条				
			土器廃棄遺構	1 基				
要約	大宮北遺跡は 10 世紀代から始まる新興在地有力者の拠点集落で、鎮守府胆沢城広域統治の末端を担ったと推定される。これまでの調査で 10 世紀後葉の大型掘立柱建物跡、祭祀・儀礼に使用された多量の土器を廃棄した遺構が確認されている。本調査でも同様の遺構・遺物が確認され、調査事例の少ない 10 世紀後葉の資料が蓄積された。							